

「農業委員会による地域計画策定に向けた生産者との協議の場づくり」

京都府 南山城村農業委員会

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	14人
○ 農地利用最適化推進委員	:	5人
○ 事務局職員	:	4人
○ (関係団体名)	:	
○ 市町村行政との連携状況:		
村農政担当課が事務局を兼務している。		



2 地区の特徴、状況、課題

- 南山城村は人口は約2,400人の京都府唯一の村で、三重、奈良、滋賀に接した中山間地域です。
- 宇治茶の主産地として茶業が盛んで、原木椎茸やトマト、ブルーベリーも特産品として生産されています。
- 人口減少に起因する担い手不足が顕在化しているが、抜本的な解消策を確立できていないのが現状です。

3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 4地区に分かれて「地域計画」に関して農作物の生産者を交えて協議の場を設けた。
- 協議の場では、現状の耕作放棄地に対する対策や将来の農地利用のあり方について、活発な話し合いがなされた。新規就農者を増やす方策や水田において、地域で取り組める新たな畑地化作物の栽培方法等について検討された。

4 成果（「地域計画」の策定に向けた取組内容）

- 「地域計画」に関して農作物の生産者を交えて協議の場を設置した。協議の場では将来の農地利用のあり方について、活発な話し合いがなされた。
- 今後開催した協議の場の結果を公表し、関係機関の意見徴収を経て令和7年3月末までにすべての地域の地域計画を作成する予定。令和7年度以降は、策定した地域計画の実現に向けて取り組む方針である。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください